

## 小6国語 出題のねらいと対策

### 1 漢字の読み書き 90.6%

**ねらい**：漢字の読みと書きが正確にできるかを問う。

**分析と対策**：漢字の知識は正確なものとしておくことが大切です。あやふやなまま覚えてしまうと、いざ問題を解くときにミスをしてしまいがちになります。漢字の形はもちろん、音読み・訓読みの読み方、部首、書き順など、漢字を覚えるときにはワンセットで練習しましょう。

### 2 助詞 93.3%

**ねらい**：文の意味がつながるように正確に助詞を使うことができるかを問う。

**分析と対策**：前後の文の内容に合った助詞を入れる問題です。空欄の前後の内容を理解して、文が正しくつながるように言葉を選びましょう。実際に文に入れてみて確認することも大切です。

### 3 敬語 40.8%

**ねらい**：正しい敬語について理解を問う。

**分析と対策**：敬語を正しく使うためには、だれの行動なのかを確認する必要があります。尊敬語は相手の行動、謙譲語は自分の行動のときに使います。また、謙譲語は自分側の人間が動作主の際にも用いるので注意が必要です。

### 4 短歌・俳句の鑑賞 62.2%

**ねらい**：短歌・俳句・鑑賞文について、それぞれ知識を問う。

**分析と対策**：AとBは俳句です。Aは、もみから 萩殻山の燃える ほのお 炎についてよんだ俳

句、Bは、高台から見た菜の花にかくれた「忘れ水」をえがいた俳句です。CとDは短歌です。Cは、自らのみだれた心のなかを、白いユリのように「真っ白に」したいという思いがえがかれ、Dは、本当の「静けさ」を体験した作者の驚きがえがかれています。短歌や俳句は、短い内容の中にどのようなことが表現されているのかに注意深く読み取りましょう。鑑賞文がある場合はそれが読み取りの手助けとなります。また、(7)の体言止めなど、代表的な表現技法についてもおさえておきましょう。

### 5 説明文の読み取り 65.0%

**ねらい**：文章の話題をつかみ、各問題に的確に答えられるかを問う。

**分析と対策**：失敗をして負の感情が出てきたときにこそ「新しい知識を受け入れる素地」ができ、そのときに吸収できる知識を筆者は「体験的知識」とよんでいます。そして筆者の実体験を通して、なぜ「体験的知識」をそれほど大切だと考えるのかが述べられています。(1)は脱文挿入の問題です。脱文挿入の問題は、脱文の指示語や内容から適切な場所を考えます。(2)(3)は文脈を把握し本文中のキーワードの理解を問う問題、(4)(5)は文脈から筆者の実体験の内容をとらえる問題です。(6)は適切な接続語を判断する問題、(7)は内容一致の問題です。どの部分が本文と合っているか、またちがっているかを一つずつ読み取っていきましょう。

全体の平均点は68.7点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけてみましょう。